

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 岐南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	93.74	99.50	1,703	

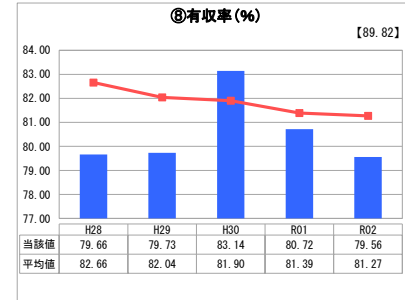
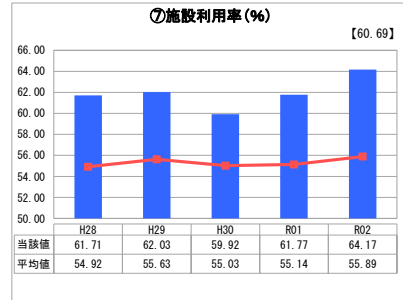
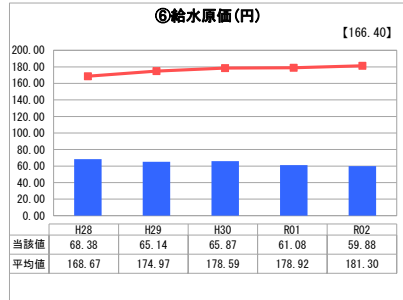
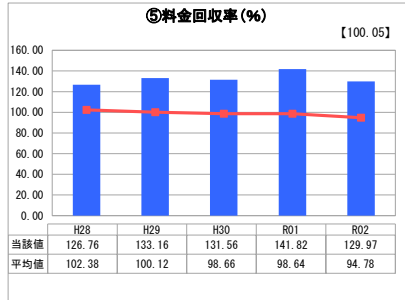
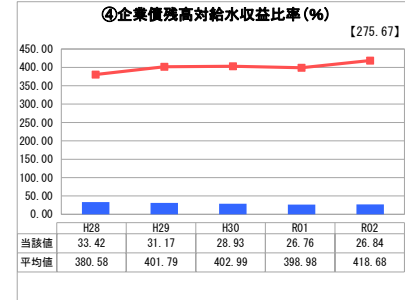
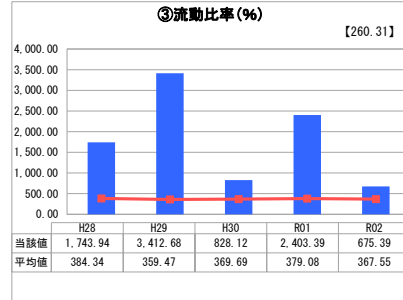
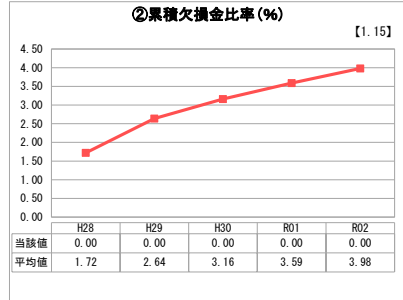
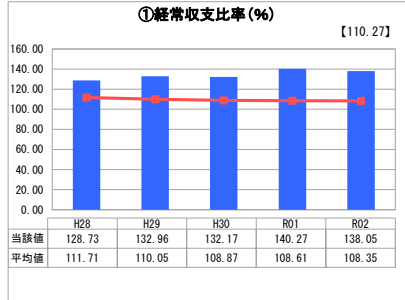
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,123	7.91	3,302.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,014	7.91	3,288.75

**グラフ凡例**

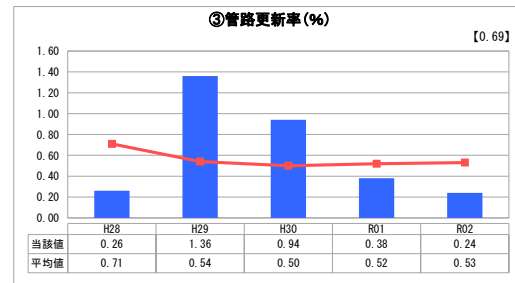
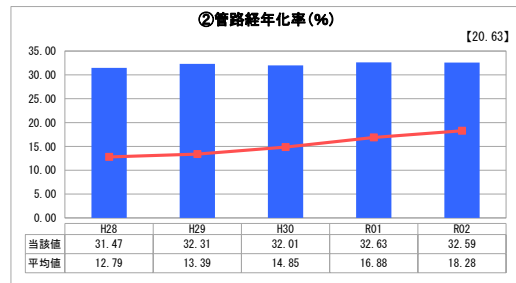
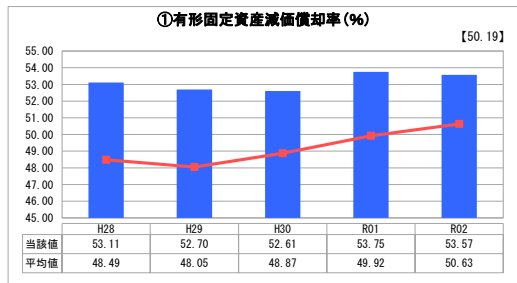
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は継続的に100%以上を保っており経営に必要な費用は料金収入で賄うことができます。また、給水収益に占める企業債残高割合は、平成14年度以降借入れをしていないことから低い値となっており、料金回収率についても高い水準を維持していることから、経営状況は比較的健全な状況にあるといえます。

経営の効率性については、当町はコンパクトな地形に人口が密集しているため水源施設は3箇所と少なく、地下水にも恵まれていることにより浄水処理は塩素滅菌のみで提供することができるなど、施設面における費用は低く抑えられており、給水原価の安さの要因となっています。また、施設利用率も比較的高く類似団体平均値を上回っていることから、効率的に経営できているといえますが、有収率に着目すると令和元年度以降下がっており、類似団体平均値を下回る結果となりました。今後は、漏水調査範囲を広げて実施することや老朽管の更新、修繕を積極的に実施し有収率の向上に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が高い値であることや、管路経年率が高い値を示していることから、法定耐用年数に近づいた又は超過した施設・管路を大量に有しています。令和2年度も継続的に管路更新工事を実施しましたが管路更新率としては、類似団体平均値を下回る結果となりました。今後も計画に沿った更新工事の実施に努めていきます。

また、水源施設更新として令和3年度より西水源施設改良工事を行っていく予定です。

(西水源施設改良工事内容) 令和3年度～令和4年度 建屋建築工事、場内配管工事、配水池設置工事、場内整備工事、機械設備工事、電気設備工事

### 全体総括

経営の健全性・効率性については良好であり、引き続き安定した経営を維持しているといえます。しかし老朽化した水源施設や管路の更新需要を多く抱えていることから多額の費用が掛かります。そのためそれらの投資を含め、経営の健全を保持できるよう水道料金改正を視野にいれ、令和2年度に経営戦略の策定を行いました。

今後も安定した経営を維持していくために、定期的に確認し、事業の実施に支障が生じる場合は、その理由を分析するとともに必要があれば概ね5年程度の期間で適切な見直しを行います。